■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
■　北九州コミュニティビジネス通信　第１２号　■
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

こらむ　第１２話　＜ＣＢ事例Ⅳ＞　ＮＰＯ法人　大阪・水かいどう８０８

所在地：大阪市都島区、設立：2001 年
事　業：川の水質改善プロジェクト、水路開発プロジェクトなど
（URL：http://www.mizukaido808.com/index.html）

＜事業概要＞

NPO法人「大阪・水かいどう808」は、川の環境を整えて「生きた川」とし、大阪のさまざまな活性化を促すことを目的として、2001 年 11 月に設立された特定非営利活動法人です。川の水辺に人々の憩いと安らぎを与える豊かな遊空間を提供し、川の多様な魅力を引き出したり、水質を向上させ子供たちが水遊びでき多様な生き物が棲息できる川づくりを行ったりしています。その他、「水の都大阪」の復活を目指して、さまざまなプロジェクトを市民、自治体、経済団体との連携を図りながら推進しています。

注目すべきは、「川の水質改善プロジェクト」です。これは、水質を浄化し真珠を生む「イケチョウ貝」を養殖し、大阪の川をきれいにしようという社会実験であり、道頓堀川での 4 年間の実験を経て、昨年、「大阪ジョウカ物語」をスタートしました。

「大阪ジョウカ物語」では、市内 5 ヶ所で計 3,500 個のイケチョウ貝を金網にくくりつけて川に沈め、真珠が育つ 4 年後に引き上げて、オーナーに真珠を手にしてもらおうとするものです。イケチョウ貝は水中の窒素やリンを取り込んだ植物性のプランクトンのケイソウなどを食べて大きくなり、1 日にドラム缶 1 本（200 リットル）もの水をきれいにするとともに、真珠を生み出すのです。オーナーは、イケチョウ貝 1 個につき 7,000 円を負担し、実験に参加してもらっています。

＜ワンポイント解説＞

全国にはたくさんのコミュニティビジネスが存在していますが、成功事例の多くは、どちらかというと衰退傾向にある地方都市での“まちおこし”といった性格のものが多いです。しかし、「大阪・水かいどう808」の取り組みは、大都市においてアイデアとノウハウを発揮して、従来ビジネスに負けない、すばらしいコミュニティビジネスを実践している好例だと思います。一般的には、環境保全や福祉事業は事業化しにくいと考えられますが、このような参加者から対価を取る仕組みは秀逸です。参加者の本音は“真珠”でしょうが、同時に社会貢献している点が参加を促進しているようです。どうぞ参考にしてください。